

## 第2回 ゼロメートル地帯の命を守る防災対策検討会

日時：令和7年3月26日(火) 13:00～15:00

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用AV会議室504（オンライン併用）

議事概要（主な意見）

### 1. ゼロメートル地帯の命を守る防災対策検討について

○江東内部河川（西側河川）を通じて氾濫水を排水する際には、河川水位が低く、氾濫水を受け入れる水路容量が大きい方が効果的であることから、複雑な操作にはなるが、干潮時に水門を閉鎖し、江東内部河川（西側河川）の水位を隅田川より低く保つことで、排水効果を高めることが期待できるのではないかと。

### 2. 東京都における排水作業準備計画

○今後の排水計画の検討において、氾濫した場合の浸水状況に応じた排水ポンプ車の配置図や燃料補給ルートを整理しておくが良い。

○コンクリート圧送車は地下街等の狭隘部における排水へ活用可能であり、重要なポイントである。

### 3. ゼロメートル地帯の命を守る防災対策（案）

#### <資料-2 1. について>

○避難の優先順位として、①広域避難、②浸水継続時間が短い他地域の避難所への避難、③自宅上階への垂直避難ということが想定されるが、②と③の間に「自宅よりも浸水時間が短い域内の避難所」のような選択肢があるのではないかと。

○モデル地区内はマンション等が多数存在し、管理組合等で備蓄しているものは浸水位以上のフロアへ保管していただく等、自助による取組のあり方についても追記していく必要がある。

○家屋倒壊等氾濫想定区域における避難に対する留意点等を記載する必要がある。

○避難の考え方、施設の名称等の表現が自治体ごとに異なっているため、長期的な対応として、住民の理解しやすさを踏まえた表現等の検討を行う必要がある。

#### <資料-2 2. ～4. について>

○避難行動や排水対策効果への理解促進のため、浸水域内のランドマークとなる施設におけるリスク情報（浸水位、浸水継続時間等）を示すことも有効な手段の一つである。

○災害時には、「東京都における排水作業準備計画」に基づく排水対策協議会・準備会（案）でなくとも、危機感共有WEB会議、災害対策本部等の枠組みを活用し、関係機関における速やかな協議を行うことができるのではないかと。